アフリカ州

名前

問1　アフリカ連合（AU）が加盟国間の統合を推し進めている背景にある、地理的・歴史的な事情を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）

1. 加盟国のすべてがモノカルチャー経済を脱却して高度経済成長を遂げたため、共通通貨を導入してヨーロッパに対抗するため。
2. アフリカ全土で公用語が一つに統一されており、民族間の対立が全く存在しないため、政治的な統合が容易に進んでいるから。
3. 砂漠化や熱帯雨林の減少などの環境問題が完全に解決されたため、その成果を世界に広めるための広報組織が必要になったから。
4. 植民地時代の国境線によって民族が分断されたり内陸国が生じたりしたため、国境を越えた経済協力や紛争解決の枠組みが必要だから。

問2　アフリカ州の資源に関する記述として、コンゴ民主共和国のコバルトや南アフリカ共和国のマンガンのように、産出地が限られており、先端技術に不可欠な資源を指す言葉を答えなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 鉄鉱石
2. 化石燃料
3. ボーキサイト
4. レアメタル

問3　南アフリカ共和国では、かつて「アパルトヘイト」と呼ばれる人種隔離政策が行われていました。この政策の内容や歴史的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 白人が非白人を政治的・経済的に支配し、居住区や公共施設の利用を厳しく制限した政策
2. 国内の貧富の差を解消するために、金鉱などの主要産業をすべて国有化した政策
3. 人種に関わらずすべての国民に等しく参政権を与え、経済成長を促進した政策
4. 先住民族の伝統的な文化や土地を保護するために、外国人の入国を制限した政策

問4　熱帯の中でも、一年を通して気温が高い一方で、降水量の多い時期（雨季）と極端に少ない時期（乾季）がはっきりと分かれている気候を何といいますか。丈の長い草原に樹木が点在する景観が特徴の名称を答えなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. サバナ気候
2. 熱帯雨林気候
3. 地中海性気候
4. 砂漠気候

問5　アフリカ大陸の気候帯の構成に関する記述として、統計上で熱帯が約39%、乾燥帯が約47%と大陸の大部分を占めていることを踏まえ、この大陸の気候の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 温帯が大陸の大部分を占めており、南北の両端にわずかに熱帯が見られる。
2. 赤道付近から高緯度地域まで広がるため、亜寒帯から熱帯までの全ての気候帯が存在する。
3. 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。
4. 乾燥帯が最も広い面積を占めるが、標高の高い地域には広大な寒帯が分布している。

問6　アフリカ大陸における環境と社会の現状について、統計資料から読み取れる傾向とその背景を正しく述べたものはどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 植民地時代から続くモノカルチャー経済からの脱却により、農地面積を縮小させて森林面積を回復させている。
2. 豊富な鉱物資源の採掘を優先した結果、農地を放棄して森林を再生させる環境保護政策が主流となっている。
3. 人口増加率が他の州を大きく上回る中で、自給的な食料確保のために森林伐採と農地拡大が進んでいる。
4. ナイル川流域やサハラ砂漠周辺において、工業化による外貨獲得を目的とした森林開発が最も優先されている。

問7　かつてオスマン帝国の支配を受け、その後のイギリスによる支配を経て1922年に独立を果たした、北アフリカに位置する国について述べた文として正しいものはどれですか。この国は、地中海と紅海を結ぶ国際的な海上交通の要所を国有化した歴史を持ち、近年ではエネルギー資源の開発によって経済成長を遂げています。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 1950年代にスエズ運河の国有化を宣言し、近年は石油や天然ガスの産出が経済を支えている。
2. 古代アステカ文明の遺跡の上に首都が築かれており、北米自由貿易協定への参加を経て工業が発展した。
3. ムガル帝国の滅亡後にイギリスの植民地となった歴史を持ち、現在は情報技術（IT）産業が発展している。
4. かつてフランス領インドシナと呼ばれた地域であり、現在はドイモイ政策によって工業化が進んでいる。

問8　アフリカ州の産業において、特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼りすぎる「モノカルチャー経済」が課題となっている。この経済構造の要因の一つである、熱帯地域での大規模栽培に関する記述として、その仕組みとリスクを正しく説明しているものはどれか。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. 焼畑農業によって土地を移動しながら栽培を行うため、特定の作物の国際価格が下落しても別の土地で新しい作物を育てて対応できる。
2. プランテーションでは主食となる穀物を多種類栽培するため、天候不順による食料不足のリスクを分散することができる。
3. 灌漑農業によって砂漠化を防止しながら栽培を行うため、環境保護と経済発展を両立させる仕組みとして機能している。
4. プランテーションでは特定の輸出用商品作物を専門に栽培するため、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。

問9　日本が主導して開催しているアフリカ開発会議（TICAD）において、近年の議論の焦点となっているアフリカとの協力のあり方について、正しい説明を選択してください。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 経済発展よりも、伝統的な自給的農業の形態を維持させるための技術指導に限定する
2. アフリカの経済成長を後押しするため、民間企業による投資やビジネスの活性化を重視する
3. アフリカ諸国の債務をすべて肩代わりし、対等な貿易関係を解消して一方的な援助に切り替える
4. 工業化による環境破壊を防ぐため、他州からの工業製品の輸入を全面的に禁止するよう求める

問10　アフリカ諸国が抱える貧困や紛争、感染症といった課題に対し、自律的な解決と経済発展、統合の推進を目指して2002年に発足した、略称をAUという地域協力機構の名称を次から選びなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 石油輸出国機構
2. アフリカ統一機構
3. 東南アジア諸国連合
4. アフリカ連合

問11　1960年代のブラジルでは、輸出総額の約56%をコーヒー豆が占めていましたが、2010年代の統計では、鉄鉱石や原油に加えて、航空機や自動車といった工業製品の輸出割合が大きく増加しています。このように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存する経済構造から脱却し、経済を多角化させる主な理由として最も適切なものはどれですか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 国際価格や天候の変動が、国内経済全体に及ぼす影響を抑えて安定させるため
2. 農業に従事する労働者をすべて削減し、都市部への人口集中を解消するため
3. 特定の資源を国内でのみ消費するようにし、海外への輸出を完全に停止するため
4. 海外からの輸入額を輸出額よりも大きくし、貿易赤字を恒常化させるため

問12　アフリカ大陸の北部に位置し、地中海沿岸からサハラ砂漠周辺にかけて広がるエジプトなどの国々において、人口の6割以上の人々が信仰している宗教として最も適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. ヒンドゥー教
2. イスラム教
3. 仏教
4. キリスト教

答え合わせ・解説

問1	答え 4 植民地時代の国境線によって民族が分断されたり内陸国が生じたりしたため、国境を越えた経済協力や紛争解決の枠組みが必要だから。	アフリカの国境線の多くは、植民地支配を行っていたヨーロッパ諸国の都合によって、経線や緯線などを利用して直線的に引かれました。その結果、元々住んでいた民族の分布が無視され、一つの国家の中に多様な民族が混在したり、逆に民族が分断されたりして紛争の火種となりました。また、海に面しない内陸国が数多く生まれたことで、輸出入を近隣諸国に依存せざるを得ない構造があります。AUは、こうした歴史的・地理的なハンデを乗り越え、州全体の安定と発展を追求するために活動しています。
問2	答え 4 レアメタル	アフリカ大陸では、ナイジェリアや北アフリカ諸国で産出される原油などのエネルギー資源に加え、南部や中部を中心に先端工業に欠かせない希少な金属が多く産出されます。これらは産出国の経済を支える一方で、価格の変動が国の財政に大きな影響を与える要因にもなっています。
問3	答え 1 白人が非白人を政治的・経済的に支配し、居住区や公共施設の利用を厳しく制限した政策	南アフリカ共和国では、少数派の白人が多数派の黒人などの非白人を差別・抑圧するアパルトヘイト（人種隔離政策）が1990年代初頭まで続けられていました。この政策により、住む場所や職業の選択、結婚、公共施設の利用などが人種によって厳しく制限されていましたが、国際的な批判や国内の反対運動が高まり、マンデラ氏らの努力によって廃止されました。
問4	答え 1 サバナ気候	赤道に近い熱帯において、一年中雨が降る熱帯雨林気候とは異なり、明瞭な雨季と乾季を持つのが特徴です。乾季には植物が枯れるため、背の高い草が生える草原（サバナ）に、乾燥に強い樹木がまばらに生える独特の景観が形成されます。
問5	答え 3 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。	アフリカ大陸は赤道を挟んで南北に対称に近い形で広がっており、低緯度地域が面積の多くを占めるため熱帯の割合が高くなります。また、北部にサハラ砂漠、南部にカラハリ砂漠などの広大な乾燥地域を持つため、乾燥帯が全大陸の中で最も高い割合を占めます。地理的に高緯度地域を含まないため、統計上、亜寒帯（冷帯）や寒帯が全く存在しないことが大きな特徴です。
問6	答え 3 人口増加率が他の州を大きく上回る中で、自給的な食料確保のために森林伐採と農地拡大が進んでいる。	アフリカ州は植民地支配の歴史やサハラ砂漠、ナイル川といった特有の地理条件を持ちますが、現代において最も大きな社会変化の要因となっているのは急激な人口増加です。他の地域を圧倒する高い人口増加率を背景に、生きるための食料増産が急務となっています。その具体的な動きとして、森林を伐採して農地を広げる開発が続いており、これが森林資源の減少を招くという因果関係が成立しています。資源採掘や工業化といった側面よりも、生存に直結する農地確保が土地利用変化の主因となっている点が重要です。
問7	答え 1 1950年代にスエズ運河の国有化を宣言し、近年は石油や天然ガスの産出が経済を支えている。	エジプトは19世紀までオスマン帝国の支配下にありましたが、その後イギリスの保護国となりました。1922年に独立した後、1956年にはナセル大統領がスエズ運河の国有化を宣言し、これが第二次中東戦争のきっかけともなりました。地理的には北アフリカに位置し、伝統的な農業に加え、近年は石油や天然ガスといったエネルギー資源の輸出が国の経済成長を牽引しています。他の選択肢は、それぞれベトナム、インド、メキシコの特徴を示したものです。
問8	答え 4 プランテーションでは特定の輸出用商品作物を専門に栽培するため、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。	植民地時代に導入されたプランテーションによる大規模生産は、特定の作物（商品作物）に特化したモノカルチャー経済を生み出しました。この仕組みは、その作物の国際価格が暴落したり、天候不順で不作になったりすると、国全体の輸出収入が激減し、経済が不安定になるという大きなリスクを抱えています。
問9	答え 2 アフリカの経済成長を後押しするため、民間企業による投資やビジネスの活性化を重視する	かつてのアフリカ支援は、貧困対策や医療・教育などの「援助（ODA）」が中心でしたが、近年のアフリカ開発会議では、アフリカの自律的な経済成長を支えるために、日本企業の進出や現地企業との連携といった「民間投資」が重視されるようになっています。これは、アフリカが経済的なパートナーとしての重要性を増していることを示しています。
問10	答え 4 アフリカ連合	アフリカ諸国は、独立後も国境をめぐる紛争や貧困などの課題に直面してきました。これらを解決し、ヨーロッパ連合（EU）のような強力な結びつきを目指して、2002年にアフリカ統一機構（OAU）を発展的に解消して設立されたのがアフリカ連合（AU）です。
問11	答え 1 国際価格や天候の変動が、国内経済全体に及ぼす影響を抑えて安定させるため	特定の産品に依存するモノカルチャー経済は、その産品の国際価格の下落や、天候不順による不作が国家の財政に深刻な打撃を与えるリスクがあります。ブラジルはこのリスクを回避するため、工業化を推し進めて輸出商品を多様化させることで、世界情勢の変化に強い経済構造への転換を図ってきました。
問12	答え 2 イスラム教	北アフリカ一帯は地理的に西アジアに近く、7世紀以降にアラブ人の進出とともにこの宗教が広まりました。エジプトを含むこの地域では、現在も多くの人々が日常生活の中で礼拝などの宗教的習慣を大切にしており、文化的に強い結びつきを持っています。